

市立小中学校の規模適正化・適正配置に関する説明会概要（なるとうこども園）

期 日：平成 27 年 11 月 14 日（土） 8 時 35 分～9 時 25 分（保育参観前）

場 所：なるとうこども園 遊戯室

参加者：保護者約 200 人、園長・副園長

【意見内容と回答】

◎女性

本日出席の方々は、成東小や大富小に通うことになる保護者の方々が多くいると思う。先ほどの説明の中ではっきりとした話はなかったが、大富小は今現在、複式学級が見込めないので、統合は当面しないということによろしいか伺う。

○教育総務課長

今、ご質問いただいたとおり、当面の間、複式学級にならない、見込めない学校については、そのままの形で存続するという考えでいる。平成 33 年までの推計をみても、大富小は複式学級にならないことが見込まれているので、当面の間はそのまま存続という形で考えている。ただ、毎年将来推計をしていく中で、例えば、何年か後に複式学級が見込まれるような状況になったときには、改めて説明をすることになると思う。

◎男性

2 つ質問出せていただく。まず、資料 11 ページ目にある通学条件、仮に学校が統合する場合の自転車通学やスクールバスの導入というのが、保護者としては非常に気になる部分であるが、先ほどの説明の中では、詳しい話がでなかったもので、今現在の方針などがあればお聞かせ願いたい。もう 1 つは、資料 1 ページ目の優先順位及び年次計画の考え方の中学校に、建物の老朽化に伴い建て替え等が必要な学校と記載されている。成東中はかなり老朽化が進んでいると思うが、そのことで統合の順番が変わるのか。老朽化に関しての説明がなかったもので、それについて説明をいただければお願いしたい。

○教育総務課長

1 つ目のスクールバスの導入については、年明けに具体的な統合のスケジュール、どこの学校がいつごろというものをお示しさせていただいて、皆さんから同意が得られ、統合という形で進んでいくことが決まったら、統合の対象になっている学校ごとに、専門部会を立ち上げる。そこには、保護者、地域の方、行政側、学校、そういう方々に集まっていただき、スクールバスについては、その運行の仕方、どういうルートで運行するのか、そういうことについての話し合いをしていって、一番望ましい形で運行していくことを考えている。先進地に聞いた話の中では、バスに乗っている子どもたちは、30 分を超えると疲れてしまうので、できれば 30 分以内で運行することがいいということを聞いている。その他、やり方もいろいろあるようで、お子さんが住んでいるところの近くまで迎えに行くパターンと、集団登校ではないが、集合場所を決めてある程度の距離を歩いてきてもらって、そこからバスに乗るといったパターンもあるようである。そういう中で、どういうスクールバスの運行がいいのかというのは、今後の話し合いの中で、新しい学校がスタートするまでの間に、十分話し合いをしながらいい形でやっていければと考えている。2 つ目の成東中の老朽化の問題については、確かに中学校の保護者の方からも建て

替えの要望書をいただいているが、老朽化の対策ということと、学校の将来的な統廃合の関係とのバランスということで、どういった形でやっていったら望ましいのかというところで、最終的な調整をしているところである。校舎をそのまま修繕をしながらやっていったほうがいいのか、将来的に生徒数が減少していくことが見込まれていく中で、そのままの形よりは統合していったほうがいいのかということの調整を今しているところである。それを、年明けにはお示しできるような形で準備をしているところである。もう少しお待ちいただきたいと思う。